第１０回　北上川上流大規模氾濫減災協議会

１．概要

○北上川上流の減災のための取組を推進するため「第１０回北上川上流大規模氾濫減災協議会」を開催。
○令和6年度までの各構成機関の取組方針の取組状況の紹介と、次期取組方針の作成に向けて、これまでの取組状況や流プロ2.0の取組メニュー等を踏まえを進めることで了承を得た。

２．日時／実施状況

日　時：令和７年６月２７日(金) 10:30～12:00
場　所：岩手河川国道事務所　２階大会議室（WEB併用会議）
出席者：関係機関　約５０名参加

盛岡市、花巻市、遠野市、一関市、八幡平市、奥州市、
滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、
金ケ崎町、平泉町
東日本旅客鉄道株式会社、岩手県、盛岡地方気象台、
東北運輸局、北上川ダム統合管理事務所、岩手河川国道事務所

議事内容

１）北上川上流大規模氾濫減災協議会の取組
２）減災に係る取組方針の取組状況
３）次期取組方針の作成に向けて
４）情報提供、今後のスケジュール



＜開催状況＞



３．主な内容等

■これまでの取組方針と次期取組方針の作成について

・令和7年度で現在の取組方針の実施期間が終了することから、R3～R7年度までの取組状況や流プロ2.0の取組メニュー等を踏まえ、次期取組方針の作成を進めることで了承を得た。
・北上川水系としては、浸水想定区域内の地区におけるマイタイムライン等の取組実施率100%等を次期取組目標として進める。

■北上川上流取組方針のフォローアップについて

各市町村における取組について、代表事例の紹介を行った。

＜構成員からの主な発言＞

・出前講座や市の広報を利用し、地域住民に対して水害リスクや避難に関する情報の更なる周知啓発を重点として取り組んだ。
・R6.8.27の大雨災害を受け、対応の中で生じた課題を検証し、災害対策本部の設置基準の見直しや米内川の水位周知河川指定の岩手県への要請等を行った。
・岩手県・関係市町と協力しR6.11.10県総合防災訓練を実施。氾濫を想定した住民避難、避難所運営等の訓練により、関係機関等の連携と協力体制を確認した。
・岩手県から新たに公表された浸水想定区域を踏まえ、ハザードマップを更新し周知を図る。
・R7.2.22に市初の市民公募型避難所体験会を開催。滝沢ふるさと交流館で避難所開設訓練と避難所体験会の二部構成で実施し、地域住民の防災意識を高めた。
・町の独自の取り組みとして、R6.4より町管理の河川監視カメラの稼働を開始。災害時の対応に有用な手段として活用している。
・自主防災組織等の住民主体による避難時の声がけや避難誘導を含む訓練として、避難所の開設訓練、要配慮者利用施設との連携した福祉避難所開設訓練等を実施し連携強化を図った。
・防災士養成研修会等により地域防災のエキスパート人材の育成、防災減災を学ぶ研修会により地域住民の連携による避難行動の迅速化と地域防災力の強化にさらに力を入れ進めていく。